

市長あいさつ

皆さんこんにちは。

今月中旬以降、市内の小・中学校では卒業式や修了式が行われました。期待や不安の入り混じる中で、4月から新生活を迎えるという方も多いのではないのでしょうか。

市役所においても、4月1日付けで組織の改編や人事異動を行い、新たな体制の下で新年度をスタートいたします。

それに併せて、現在不在となっている副市長のポストに2名を選任する案を市議会に提出し、同意をいただきました。4月1日付けで副市長に就任するのは、伊藤 哲^{さとし} 現教育長と、国土交通省職員の黒澤伸行さんでございます。

お二人は異なる分野で豊富な経験をお持ちであります。副市長を2名体制とし、それぞれのお力を発揮していただくことで「とりで未来創造プラン2024」に掲げる6つの政策を、より強力に進めていけるものと考えています。

「住み続けるほど好きになる街をつくる！！」という私の想いをお二方も共有し、連携を密に取りながら「ぬくもりとやすらぎに満ち 共に活力を育むまち とりで」の実現を目指してまいります。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、取手駅西口にアート時計塔についてです。

この度、取手駅西口ペDESTリアンデッキ上に設置していたこれまでの時

計塔に替えて、アート意匠が施された電波時計塔を新たに設置いたしました。

新たな時計塔は、キヤノン株式会社に費用をご負担いただき、東京藝術大学にデザイン・制作を行っていただいたものでございます。

その完成記念式典を、現地にて、3月31日 日曜日 午後1時5分から執り行います。

「^{きょうせい}共生の樹」と名付けられた時計塔は、市立小・中学校の児童・生徒のほか、市民の皆さまから寄せられた610件ものモチーフ原画を基に、東京藝術大学准教授の^{さえぐさかずまさ}三枝一将氏にデザインをしていただきました。

現在、取手駅西口では、駅前交通広場の整備や地権者の皆さまによる再開発事業が進められております。

これから新しく生まれ変わり、発展していく取手駅西口の一つのシンボルとして、新たな時計塔が、皆さまに末永く愛されることを期待しております。

次に、「コミュニティバスにEVバス車両を導入」についてです。

公共交通の低炭素化を推進するため、市では、コミュニティバスにEV車両1台を導入し、4月1日から運行を開始いたします。

車両を導入するのは、7ルートあるバス路線のうち、戸頭駅から取手ウェルネスプラザまでの区間を運行する西部ルートです。

EV車両は、走行時の二酸化炭素排出量がゼロで、静粛性にも優れております。また、一目見てEV車両と分かるよう外見のデザインも一新いたしました。水色の車体に、電気自動車であることをPRする文字やイラスト、取手市健康づくりキャラクター「とりかめくん」が描かれたデザインは、親しみやすさを感じられるものとなっております。

是非多くの皆さまにご乗車いただき、E V車両の乗り心地などを体感して
いただきたいと思います。

今後も車両更新の際にはE V車両を積極的に導入し、環境にやさしいまち
づくりを進めてまいります。

以上で、私からの説明を終わります。